



立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 教授

池田 耕一 氏

CSR(企業の社会的責任)の基本は、まず本業によって社会(ということは、社会を構成している人々)の役に立つことです。本報告書の全編を通して、これに対しての経営トップをはじめとする皆さんの熱意と積極的な取り組み状況がひしひしと伝わってきます。

たとえば、支払管理態勢の強化やガバナンスの透明性向上などの諸施策が具体的かつ着実に実施されています。また、お客さま満足度の向上にむかって、さまざまな分野における新たな取り組みが開始されました。発生した不祥事の実態と対策が記載されていることも、お客さまからの、そして社会からの安心につながります。

もともと生命保険は、有限かつ不確実な生命をもって日々生活している人間の相互扶助のために生まれました。このような生命保険の本質は、CSRの次なる重要領域として急速に拡大している社会的課題の解決と根源的に深くつながっているといえましょう。

CSRの本来的先進企業として、お客さまに一層役立つ本業遂行へのレベルアップに加え、すでに展開されている「子どもの命・安全を守る活動」など、社会的課題の解決をめざした生命保険事業者ならではのさらなる力強い活動を心から期待しています。

項目	掲載ページ
----	-------

1.戦略および分析		
1.1	組織にとっての持続可能性の適合性とその戦略に関する組織の最高意思決定者(CEO、会長またはそれに相当する上級幹部)の声明	P3-4
1.2	主要な影響、リスクおよび機会の説明	P5-8

2.組織のプロフィール		
2.1	組織の名称	P2
2.2	主要なブランド、製品および／またはサービス	P2
2.3	主要部署、事業会社、子会社および共同事業などの組織の経営構造	P2、P7-8
2.4	組織の本社の所在地	P2
2.6	所有形態の性質および法的形式	P36
2.7	参入市場(地理的内訳、参入セクター、顧客／受益者の種類を含む)	P2
2.8	報告組織の規模	P2

3.報告要素		
報告書のプロフィール		
3.1	提供する情報の報告期間(会計年度／暦年など)	P2
3.2	前回の報告書発行日(該当する場合)	P2
3.3	報告サイクル(年次、半年ごとなど)	P2
3.4	報告書またはその内容に関する質問の窓口	アンケート
報告書のスコープおよびバウンダリー		
3.6	報告書のバウンダリー(国、部署、子会社、リース施設、共同事業、サプライヤー(供給者)など)	P2
3.7	報告書のスコープまたはバウンダリーに関する具体的な制限事項を明記する	P2
GRI内容索引		
3.12	報告書内の標準開示の所在場所を示す表	P64
保証		
3.13	報告書の外部保証添付に関する方針および現在の実務慣行。サステナビリティ報告書に添付された保証報告書内に記載がない場合は、外部保証の範囲および基盤を説明する。また、報告組織と保証の提供者との関係を説明する	P63

4.ガバナンス、コミットメントおよび参画		
ガバナンス		
4.1	戦略の設定または全組織的監督など、特別な業務を担当する最高統治機関の下にある委員会を含む統治構造(ガバナンスの構造)	P36
4.3	単一の理事会構造を有する組織の場合は、最高統治機関における社外メンバーおよび／または非執行メンバーの人数を明記する	P36
4.4	株主および従業員が最高統治機関に対して提案または指示を提供するためのメカニズム	P36-37、P62
4.8	経済的、環境的、社会的パフォーマンス、さらにその実践状況に関して、組織内で開発したミッション(使命)およびバリュー(価値)についての声明、行動規範および原則	P5-6
ステークホルダー参画		
4.16	種類ごとのおよびステークホルダー・グループごとの参画の頻度など、ステークホルダー参画へのアプローチ	P18-19、P21-22、P36-38、P62

5.マネジメント・アプローチおよびパフォーマンス指標		
経済		
間接的な経済的影響		
EC8	商業活動、現物支給、または無料奉仕を通じて主に公共の利益のために提供されるインフラ投資およびサービスの展開図と影響	P13-16、P50-54

項目	掲載ページ
----	-------

環境		
原材料		
EN1	使用原材料の重量または量	P56
EN2	リサイクル由来の使用原材料の割合	P56
水		
EN8	水源からの総取水量	P56
EN10	水のリサイクルおよび再利用量が総使用水量に占める割合	P55-56
排出物、廃水および廃棄物		
EN16	重量で表記する直接および間接的な温室効果ガスの総排出量	P55
EN18	温室効果ガス排出量削減のための率先取り組みと達成された削減量	P55

労働慣行とディーセント・ワーク(公正な労働条件)		
雇用		
LA1	雇用の種類、雇用契約および地域別の総労働力	P2
LA3	主要な業務ごとの派遣社員またはアルバイト従業員には提供されないが、正社員には提供される福利	P59-60
労使関係		
LA4	団体交渉協定の対象となる従業員の割合	P62
労働安全衛生		
LA8	深刻な疾病に関して、労働者、その家族またはコミュニティのメンバーを支援するために設けられている、教育、研修、カウンセリング、予防および危機管理プログラム	P60
研修および教育		
LA11	従業員の継続的な雇用適性を支え、キャリアの終了計画を支援する技能管理および生涯学習のためのプログラム	P58
LA12	定期的にパフォーマンスおよびキャリア開発のレビューを受けている従業員の割合	P58
多様性と機会均等		
LA13	性別、年齢、マイノリティ・グループおよびその他の多様性の指標に従った、統治体(経営管理職)の構成およびカテゴリ別の従業員の内訳	P61

人権		
投資および調達の慣行		
HR3	研修を受けた従業員の割合を含め、業務に関連する人権的側面に関わる方針および手順に関する従業員研修の総時間	P61

社会		
不正行為		
SO3	組織の不正行為対策の方針および手順に関する研修を受けた従業員の割合	P46

製品責任		
製品およびサービスのラベリング		
PR5	顧客満足度を測る調査結果を含む、顧客満足に関する実務慣行	P18-22
マーケティング・コミュニケーション		
PR6	広告、宣伝および支援行為を含むマーケティング・コミュニケーションに関する法律、基準および自主規範の遵守のためのプログラム	P34

生命保険契約のお手続きに関するご照会

●コミュニケーションセンター
「お電話によるご相談窓口」



0120-662-332

※ 上記時間帯以外は「お申し出の受付」のみとさせていただきます。
※ コミュニケーションセンターへのお問い合わせ・ご照会のお電話は、当社業務の運営管理およびサービス充実の観点から録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

□ 当社におけるお客さまに関する情報の取扱いについては、ホームページ(<http://www.meijiyasuda.co.jp/>)をご覧ください。□

MEIJI YASUDA 明治安田生命保険相互会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
TEL:03-3283-8111(代表)
URL:<http://www.meijiyasuda.co.jp/>

発行 CSR推進事務局 2008年12月

本報告書の制作、印刷にあたって、次のような配慮をしています。

カラーユニバーサルデザインへの配慮



カラーユニバーサルデザイン認証の取得

色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの方に見やすいような配慮や表示を心がけました。モニターによる検証などのチェックを経て、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)から認証を取得しています。

用紙・印刷での配慮



本報告書は、環境に配慮し、FSC認証の用紙を使用しています。また、製版フィルムを使用せず有害な廃液の出ない水なし印刷方式により、生分解性に優れた植物性大豆インクを使用して印刷しています。